

誰もがいつか迎える

「その時」のために

～最期まで私らしくあるために～

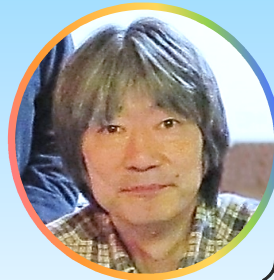


『^{うち}自宅で最期まで〃を支える』
ほりうち医院 堀内 房成 先生



【進行役】
宇治久世医師会 副会長
門阪 庄三

『認知症の人と歩んだある医師の選択』
府立洛南病院 森 俊夫 先生



『住み慣れた地域で暮らす』
宇治市役所 藤田 佳也 氏

『アドバンスケアプランって何？』
～わたしの想いシートについて～
京都岡本記念病院 清水 義博 先生



人生の最終章を迎えたとき、私たちが
できることは何でしょうか？
ずっと自宅にいられるの？
医療や介護はどう利用すればいいの？
住み慣れた町で最期まで暮らすために、
いま知っておきたいことを、この地域
で日々奮闘する医師と行政マンが熱く
語ります。
皆さま、奮ってご参加ください。

日時 平成29年 **1月22日** (日)
13時30分～16時30分
(開場 13時～)

会場 宇治市文化センター 小ホール

定員 400名 (参加費無料・申込み不要)
※要約筆記によるスクリーン提示あり

主催: 宇治久世医師会 (看取り委員会)

共催: 宇治市・城陽市・久御山町 後援: 京都府

お問い合わせ先: 宇治久世医師会事務局 ☎ 0774-24-1711

会場周辺地図

